



県域水道一体化における「情報公開」を求めし請願書

紹介議員氏名 竹内 久美子
加藤 裕美
浜田 佳賢
塩見 牧子



2023年11月9日

生駒市議会議長 様

連絡先住所
氏名

県域水道一体化における「情報公開」を求める請願書

1、要旨

県域水道一体化について、法定協議会(以降、法定協)の情報公開等を議会として、県に対して求めてください。

- ①参加者、会議資料、議事録など、すべての資料をWEB公開すること。
- ②傍聴を可能とし、マスコミフルオープンとすること。
- ③協議の内容は、広報紙やホームページ、説明会などを通して随時住民に知らせること。

2、理由

- ① 山下知事は、一体化の目玉「水道料金一本化」「2025年4月の一斉スタート」にこだわらないと第1回法定協で発言されました。第2回法定協では方向修正されたようですが、各自治体の状況や経緯、議論等を市民のみならず議員も知ることができません。
- ② 山下知事は就任式で「山下県政においては、県政情報は、原則公開といたします。情報公開条例、個人情報保護条例で非開示とされるもの以外は、全て公開をいたします。非開示事由の解釈も厳格にいたします。そして、情報公開請求に対して、受け身に対処するだけでなく、これまでよりもっと積極的に県民に対して情報を提供してまいります。」と発言しています。
- ③ 先例として、大阪都構想の法定協では全ての回が開催告知され、市民も自由に傍聴可能で、動画・議事録・配布資料すべてWEB公開されました。(現在も公開中)
- ④ 第2回法定協は、マスコミすら非公開となり、資料も公開されていません。第1回法定協では、マスコミ限定とはいえフルオープンであり、配布資料・議事録もWEBで公開されました。山下知事の情報公開への姿勢が早くも崩れており、このままでは市民の利益を損ねることが明らかです。

県域水道一体化についての資料や議論が、市民の代表である議員にすら、十分に知らされていません。水道は、市民生活に大きくかかわる重要事項であり、議員・市民への十分な周知が必要と考えます。

以上